

2026年9月6日 聖霊降臨後第十五主日礼拝説教
「時を見て歩み出せ」(ローマ13章11～14節)

今日のみことば：ローマ13章11節

「あなたがたが眠^{ねむ}りから覚^さめるべき時^{とき}が既^{すで}に來^きています。」

＊眠り：世のもので眼が遮られ、救いを見ずに生きること。

問：あなたも、すでに眠りから覚めているでしょうか？

☞眼も心も閉じたまま、行くべき道を見失わないように。

「今や、わたしたちが信仰に入^いったころよりも、救いは近^きづいている」

☆天に上げられたイエスが、再び降られて、救いを全うする
ときは、絶えず、わたしたちのうちに、近^きづいている。

※よみがえり、朽ちぬ命と体が、あなたの徴となるように。

○マタイ4章17節

「イエスは、『悔い改めよ。天の国は近^きづいた』と言って、宣べ伝え始められた。」

＊神の子イエスが、人として生まれなければ…

⇒十字架と復活によって、神の救いが、さらに近^きくなった。

○ローマ13章12節

「＊夜は更け、日は近^きづいた。だから、闇の行いを脱ぎ捨てて…」

＊【直訳】夜は、すでに過ぎ去り、日は、すぐ近^きくにある。

「滅びに向かっている古い人を脱ぎ捨て、」(エフェソ4章22節)

★世の闇に吞まれて滅びに歩む命は、終わったのだから…

「主イエス・キリストを身にまといなさい。」(14節)

＊あなたのために死んだ、イエスの十字架を心に刻んで…

※キリストが与えた赦し、義しさに依り頼んで生きよ。